

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

『重忠様』の地元で顕彰に携わる



畠山重忠公顕彰会

会長

高橋正明さん(写真右)

事務局長

丸橋幸男さん(写真左)

重忠公の遺徳をしのび
後世に伝えていく

「素直にうれしいの一言ですね。」と深谷の偉人である『畠山重忠公』が今年の大河ドラマに登場すると聞いたときの感想を話すのは『畠山重忠公顕彰会』の二人です。

顕彰会はそれぞれ活動していた『畠山重忠公史跡保存会』と『重忠太鼓保存会』、『重忠節踊り同好会』の3つの団体が連携して活動するために統合し、令和元年に設立されました。そして、約400人いるという会員で行っている大きな取り組みが、4月の『重忠まつり』、7月の『重忠公慰霊祭』と『献花式』です。

重忠公の魅力について伺うと「800年以上前の話なので、すべてが正しいとは思いませんが、『吾妻鏡』や他の史料、言い伝え

などを読んでみても悪口が書いていなくて、誠実な人物なんですよね。」と高橋さんは話し、丸橋さんは「私たち地元では、子どもの頃から『重忠様』と親しみを込めて呼び、清廉潔白な人柄を尊敬していました。」と話してくれました。

『大河ドラマを機に重忠公について、もっと知ってもらいたい。』と考えている二人に今後の目標について伺うと「重忠公が縁で田野畑村(岩手県)と友好都市として交流していますが、『重忠公終焉の地』である横浜市旭区など、ゆかりの地は日本全国にたくさんあるので、そういったまちとの交流をもっと広げていきたいですね。」と笑顔で話してくれました。



▲2年前に行われた『重忠まつり』で、地元の子どもたちが『浦安の舞』を踊る様子。

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩

101 畠山重忠公史跡公園



◀重忠さん、すごい!馬を背負ってる!
この銅像は『源平合戦』で戦っているときに、愛馬の『三日月』をいたわり、担いだという有名な話が元になっているんだって!
*重忠さんは力持ちでも有名だったらしいよお~。



▲銅像から南に進んだ建物の中には、重忠さんのお墓をはじめ、6つのお墓がまつられているよ。今年話題の人だから、みんなも見に行ってみてね~。

ふっかちゃんのつぶやき
あけましておめでとうタイガー! 今年は武蔵武士の鑑『畠山重忠』さんに注目だよ! 2022年もよろしくおねがいします Y(o0ω0o)Y



今日は、『畠山重忠公史跡公園』に来たよ! なんと、去年の渋沢栄一さんに続いて、今年の大河ドラマには深谷の偉人である畠山重忠さんが登場するんだよ。

この公園には、重忠さんの銅像やお墓があるみたいだから、さっそく見に行ってみよ~♪



L・フォルテ

男女共同参画情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや
L・フォルテは、深谷市男女共同参画推進センターの愛称です。このコーナーでは、男女共同参画に関する情報を皆さんに紹介します。

個人権政策課 ☎574 - 6643

深谷市男女共同参画推進センター(L・フォルテ)について

深谷市男女共同参画推進センター(L・フォルテ)は、4月1日(金)から上柴公民館に変わります。なお、男女共同参画推進事業の拠点はL・フォルテから本庁舎に移し、これまで同様実施していきます。

今後の公民館の利用方法については11ページをご覧ください。

女性活躍の先駆者 北川千代

仲町地内にある大手口公園の一角に、児童文学作家の『北川千代文学碑』が設置されているのをご存じでしょうか。

千代の父は、渋沢栄一翁が設立した日本煉瓦製造株式会社の初代工場長を務めました。このため、少女時代を深谷で過ごした千代の作品には深谷が題材になったものが多数あり、碑文には『お父さんの村』に書かれている深谷の情景が刻まれています。



▲北川千代文学碑

この文学碑は、平成14年に『北川千代顕彰会』によって建立されました。顕彰会では、深谷に北川千代の名を残すことを目指しており、文学碑および周辺の植栽管理にも努めています。このような活動が認められ、会の代表である江本妙子さんが令和3年度シラコバト賞を受賞されました。

お近くにお越しの際は、みなさんぜひお立ち寄りください。



▲北川千代

心の広場

榛沢小学校4年(現5年)
田村 香乃さん



目が見えなくても

わたしの知っているピアニストは、目が見えません。ですが、色々なコンクールでしょうを取っています。わたしは、目が見えないのに、すごいなと思いました。目が見えなくても、ピアノはうまくひけるのかなと思いました。

ために、目をつぶってひいてみました。どこがどの音なのか、ぜんぜんわかりませんでした。わたしは、目が見えないピアニストのことが、すごいなと思いました。目が見えなくてもピアノはひけるのだなと思いました。

そんなことを思っていると、じゅぎょうで、アイマスク体験を行うことになりました。アイマスクをしたら今、自分がどこにいて、どこに何があるのかが分かりませんでした。

「もうちょっと右にサッカーゴールがあるよ。」と教えてくれました。それなので、あまり右に行かないようにしました。

わたしがアイマスク体験をして、一番こわかった場所はいだんです。理由は、だんがどこまであるのかが分からないから、足でだんをふもうとしたらだんがない時が一番こわかったからです。自分がしじをするがわの時、ペアの子が他の子とぶつかってしまった時に、「友達が近くにいるよ。」など、声をかけてあげられればよかったなと思いました。

目が見えない人は、ずっと目が見えないから、大変なんだなあと思いました。もし、自分が目が見えないなら...と考えると、ぞくぞくこわくなりました。

でも目が見えない人は、この気持ちはずっと続くから、すこし強いなと思いました。

目が見えないと、だれかが近くにいってくれないと、どこに何があるのかが分からないから、目が見えない人を見つけたら、話しかけて助けてあげたいです。また、つまづくようなもの、たとえば、石などをはじによけるとか、話しかけて、荷物をもってあげるなどできることを進んで行きたいと思います。

目が見えない人も目が見えないではない人も、しょうがい者でも、全員が、楽しく、うれしくなるような世界にしたいです。

目が見えない人、しょうがい者など、がんばる人をおうんでいけるような大人になりたいです。